

# 「総合的なTPP等関連政策大綱」 のポイント

# 「総合的なTPP等関連政策大綱」

## 新輸出大国

### <輸出促進によるグローバル展開推進>

#### 1 丁寧な情報提供及び相談体制の整備

- TPP等の普及・啓発
- 中堅・中小企業等のための相談体制の整備

#### 2 新たな市場開拓、グローバル・バリューチェーン構築支援

- 中堅・中小企業等の新市場開拓のための総合的支援体制の抜本的強化（「新輸出大国」コンソーシアム）
- コンテンツ、サービス、技術等の輸出促進
- 農林水産物・食品輸出の戦略的推進
- インフラシステムの輸出促進
- 海外展開先のビジネス環境整備

## 国内産業の競争力強化

### <TPP等を通じた国内産業の競争力強化>

#### 1 TPP等による貿易・投資の拡大を国内の経済再生に直結させる方策

- イノベーション、企業間・産業間連携による生産性向上促進
- 対内投資活性化の促進

#### 2 TPP等を通じた地域経済の活性化の促進

- 地域に関する情報発信
- 地域リソースの結集・ブランド化
- 地域の雇用や経済を支える中堅・中小企業・小規模事業者、サービス産業の高付加価値化

### <食の安全、知的財産、政府調達>

- 輸入食品監視指導体制強化、原料原産地表示
- 特許、商標、著作権関係について必要な措置
- 著作物等の利用円滑化等
- 政府調達に係る合意内容の正確かつ丁寧な説明

## 農政新時代

### <農林水産業>

#### 1 強い農林水産業の構築（体質強化対策）

政策大綱策定以降、各種の体質強化策を実施。引き続き必要な施策を実施。

- 次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成
- 国際競争力のある産地イノベーションの促進
- 畜産・酪農収益力強化総合プロジェクトの推進－国産チーズ等の競争力強化等
- 高品質な我が国農林水産物の輸出等需要フロンティアの開拓
- 合板・製材・構造用集成材等の木材製品の国際競争力の強化
- 持続可能な収益性の高い操業体制への転換
- 消費者との連携強化、規制改革・税制改正

#### 2 経営安定・安定供給のための備え（重要5品目関連）

TPP又は日EU・EPA発効後の経営安定に万全を期すため、協定発効に合わせて経営安定対策の充実の措置を講ずる。

- 米（政府備蓄米の運営見直し）
- 麦（経営所得安定対策の着実な実施）
- 牛肉・豚肉、乳製品（畜産・酪農の経営安定充実）
- 甘味資源作物（加糖調製品を調整金の対象）

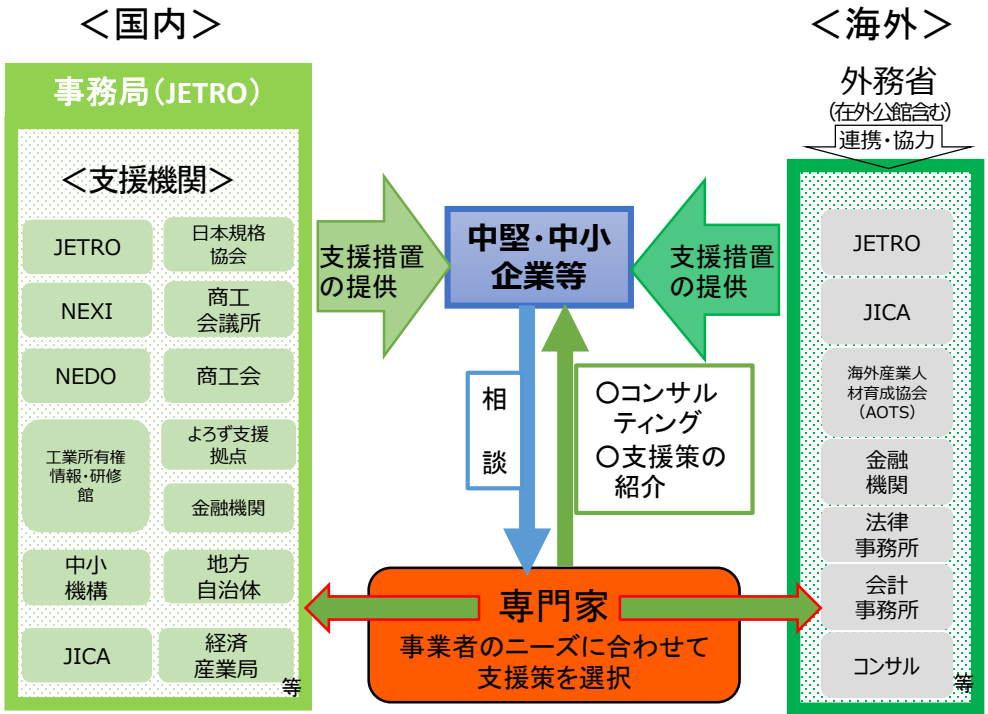
# ① 輸出促進によるグローバル展開推進

## 新輸出大国(中堅・中小企業等の海外展開支援)

◆海外展開を図る中堅・中小企業等を専門家・支援機関による支援を通じ後押し。

### ＜「新輸出大国コンソーシアム」＞

- 複数の支援機関が協力(ワンストップ)
- 支援策を組合せ、より効果的な支援メニューを提供
- ※支援内容:  
海外展開計画の策定、市場調査、現地での商談、バイヤーの選定 等



## 新輸出大国コンソーシアムによる支援の状況

- ①支援機関: 1103機関  
政府・政府関係機関等、自治体、商工会議所・商工会、地方銀行、信用金庫等
  - ②支援対象企業: 6282社  
支援対象企業の業種: 工業、農水産業、卸売業 等
  - ③専門家: 477名  
商社OB、メーカーOB、コンサルタント 等
- (平成29年10月13日時点)

### ＜例: 室町酒造 株式会社 (岡山県)＞



- ◆実績の無かったカナダへの輸出を計画
- ◆コンソーシアムによる情報提供により州ごとに異なる販売規制に対応
- ◆専門家とともに現地での商談会で新規販路を開拓
- ◆約1,000本の取引が実現

### ＜今後の取組＞

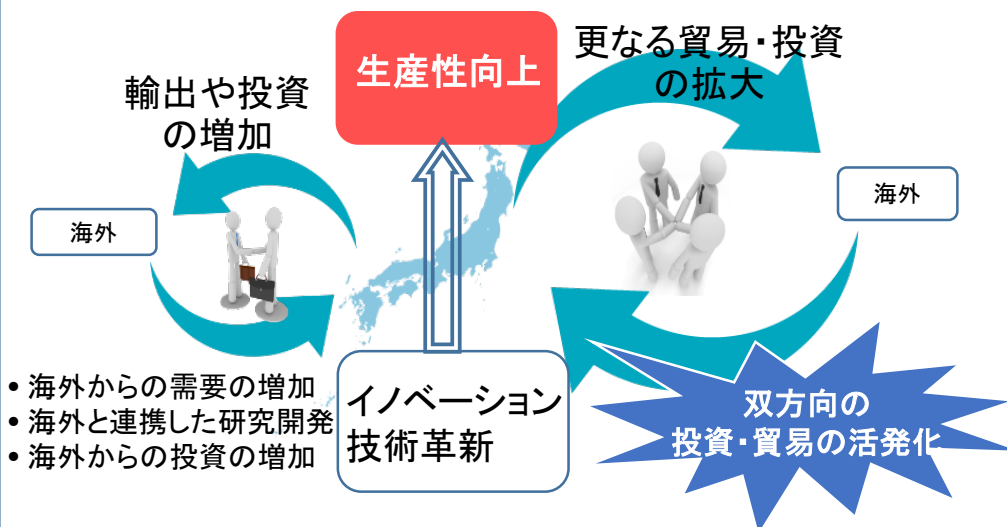
- ◆支援対象にEU市場への展開を図る企業を追加するとともにEU市場の実情を踏まえ、支援の一層の充実を行う。
- ・EU市場向けの専門家が事業計画策定から市場開拓に至るまでを支援
- ・EUの規格・規制対応(例:CEマーク)を支援
- ・地域商社等の活用によるEU市場への展開を支援 等

## ② TPP等を通じた国内産業の競争力強化

### グローバル・ハブ（貿易・投資の国際中核拠点）

- ◆我が国企業の海外展開が進み、我が国企業の強みである優れた技術力等が海外で認知され、海外からの投資が期待。
- ◆優れた技術力等を有する我が国企業が海外展開できるよう基礎体力、体質強化を図る。

### 貿易・投資の拡大の恩恵を我が国に取り込む 好循環の拡大



### 中堅・中小企業と外国企業との共同開発等を通じた事業拡大の事例

#### <戸田工業（化学素材、広島県、従業員390名）>

- ◆トナー等を製造している戸田工業の顔料に仏の化粧品メーカーが着目。
- ◆当該仏の化粧品メーカーは、日本に研究所を設立。戸田工業と共同で化粧品顔料を開発。（オープンイノベーション）  
※口紅やファンデーションとして世界中で販売。
- ◆独BASFとリチウムイオン電池用素材の合弁会社設立（山陽小野田市等に工場）



#### <今後の取組>

- ◆外国企業と中小企業とのマッチング支援
  - ・例えば、J-GoodTech（ジェグテック）では、国内大企業と国内中小企業を中心にマッチングを実施中。
  - ・今後、外国企業と中小企業とのマッチング支援の推進。

※J-GoodTech：（独）中小企業基盤機構が運営する、国内中小企業の優れた技術を紹介し大企業等とのマッチングを支援するウェブサイト

# ③ 農林水産業

## 農林水産分野におけるTPP対策

### ① 攻めの農林水産業への転換(体質強化対策)

- ・次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成
- ・国際競争力のある産地イノベーションの促進
- ・畜産・酪農収益力強化総合プロジェクトの推進
- ・高品質な我が国農林水産物の輸出等需要フロンティアの開拓
- ・合板・製材の国際競争力の強化
- ・持続可能な収益性の高い操業体制への転換
- ・消費者との連携強化 等

H27・28補正予算により、具体的な対策を実施

### ② 経営安定・安定供給のための備え(経営安定対策)

- ・米: 政府備蓄米の運営の見直し
- ・麦: 経営所得安定対策の着実な実施
- ・牛肉・豚肉、乳製品:
  - 牛・豚マルキンの法制化
  - 牛・豚マルキンの補填率の引上げ
  - 豚マルキンの国庫負担水準の引上げ 等
- ・甘味資源作物: 加糖調製品の調整金の対象化

必要な法的手当を実施  
 (TPP未発効のため、未施行)

### ③ 検討の継続項目

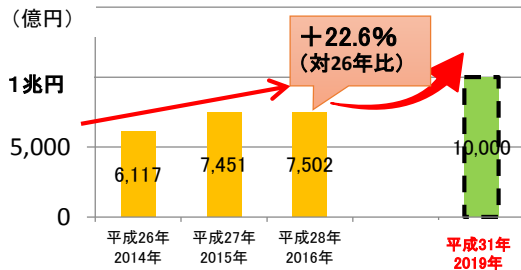
- ・農政新時代に必要な人材力を強化するシステムの整備
- ・生産者の所得向上につながる生産資材価格形成の仕組みの見直し
- ・生産者が有利な条件で安定取引を行うことができる流通・加工の業界構造の確立
- ・真に必要な基盤整備を円滑に行うための土地改良制度の在り方の見直し
- ・戦略的輸出体制の整備
- ・原料原産地表示 等

平成28年11月に「農業競争力強化プログラム」を決定

## 対策の主な効果

### <輸出促進策>

- 41の輸出拠点のうち、本年度までに19が稼働。
- 米、青果、水産物等の品目別にプロモーションや輸送技術の実証試験を実施。
- 農林水産物の輸出額は4年連続最高値を更新。1兆円目標を1年前倒し。



### <その他の担い手等の体質強化策の例>

取組内容	事業実施による効果(実例)	全国での実施状況
認定農業者等が農業経営の発展に取り組む場合に必要な機械・施設の導入を支援	【27年度事業実施分】 経営体(397者)の経営改善 売上高: 平均16%増 経営コスト: 平均4%減 経営面積: 平均15%拡大	H27補正: 479地区・793経営体 H28補正: 403地区・719経営体
畜産に関する施設整備や機械導入等を支援	【28年度事業実施分】 搾乳ロボット導入による乳量の増加 27.0kg → 29.1kg(頭/日) 8.0%増加	H27補正: 施設整備431件 機械導入7,772件 H28補正: 施設整備369件 機械導入3,718件

## <今後の取組>

### ◆これまで総合的なTPP関連政策大綱に盛り込まれていた施策

- 体質強化対策: 引き続き実績の検証を踏まえた所要の見直しを行った上で、必要な施策を実施
- 経営安定対策: TPP又は日EU協定の発効に合わせて対策の充実等の措置
  - ・牛・豚マルキンの補填率引上げ(8割→9割)、豚マルキンの国庫負担水準引上げ(国:生産者=3:1へ)
  - ・改正糖価調整法に基づき加糖調製品を調整金の対象化

### ◆チーズ等の乳製品

- ・国産チーズ等の競争力を高めるとともに、その需要を確保し、将来にわたって安定的に国産チーズ等の生産に取り組めるようにする。原料面での低コスト・高品質化、製造面での低コスト・品質向上・ブランド化等

### ◆構造用集成材等の木材製品

- ・加工施設の効率化、競争力のある製品への転換、原木供給の低コスト化等

### ◆パスタ・菓子等

- ・国境措置整合性確保のための小麦のマークアップの実質的撤廃(パスタ原料)・引下げ

### ◆輸出環境の整備等

- ・畜産物(豚肉・鶏肉・鶏卵・乳製品等)等の輸出条件の改善、国内の環境整備等

## ④ 地方公共団体等からの意見・要望（概要・一例）

### 輸出促進によるグローバル展開推進

- ◆ 新輸出大国コンソーシアムについて対象地域の拡大、支援の充実
- ◆ 各機関と連携した我が国の「中堅・中小企業」の海外進出支援のさらなる強化 等

（秋田県、大阪府 等）

### TPP等を通じた国内産業の競争力強化

- ◆ TPP協定等を契機とした事業者の生産性向上や新技術開発のための支援
- ◆ 新たな製品やサービス等の創出が期待できる産業に対しては、イノベーション創出を後押しするなど、さらなる産業発展に向けた取組 等

（福島県、東京都 等）

### 農林水産業

- ◆ 農林水産業の体質強化に向けた対策の充実・強化、必要な予算の確保
- ◆ 生産者が安心して生産性の向上や経営改善に取り組めるよう、経営安定対策の充実
- ◆ チーズ等の乳製品に関する対策への支援の充実・強化
- ◆ 製材等の木材製品に対する対策への支援の充実・強化
- ◆ 輸出環境の整備及び国内外での消費拡大対策
- ◆ 漁業の成長産業化 等

（北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、全国農業協同組合中央会 等）